

編集後記

▽『禪研究所紀要』第四十四号をお届けします。

▽本年度は、禪研究所開所五十周年、坐禪堂開單三十五周年にあたりました。十一月十六日の記念式典をはじめ、各種の記念行事を無事円成できましたこと、大学当局をはじめ、御来賓各位、関係各位に衷心より御礼申し上げます。

▽記念講演会には、駒澤大学名誉教授で、現在、大本山永平寺西堂をおつとめの奈良康明先生をお招きして、仏教の出発点ともいべき釈尊の修行の本質について、大変有意義なお話をうかがうことができました。

▽記念出版として、『仏教の知恵 禪の世界』と『禪語にたしむー悟りの世界からのメッセージ』を大法輪閣から上梓しました。前者は、平成十二年以降に開催した講演会等の記録をまとめたもの、後者は、機関紙「禅研だより」に所載のコラムに加えて、関係の先生方に御寄稿をお願いしたものです。ご執筆ならびに掲載をご許可下さいました先生方に、改めて御礼申し上げます。

▽記念行事の一つとして、九月から名城公園キャンパスで「禅・茶話の会」放光^{（注）}が毎月開催されることになりました。日進キャンパスの火曜参禅会とは一味違う参禅会です。多くの方が直接「禅」に触られることを願っています。

▽本号には、先述の奈良先生の御講演の内容と、六月三日の研究会で講師をおつとめ下さいました駒澤大学佛教学部教授石井清純先生の玉稿をはじめとして、合計九篇の御論文と、佐藤悦成所長の巻頭言を収載できました。御寄稿下さいました先生方と、本誌刊行に御尽力下さいました皆様に御礼申し上げます。

▽本年度から、文学部宗教学科に着任した石田尚敬先生が禪研究所の兼任研究員となりました。また、各種業務の補佐として大橋崇弘、山端信祐の両先生が加わりました。事務担当も櫻井潤子さんから中村早栄さんに交代しました。半世紀の歴史を礎^{（注）}に、これからもたゆまぬ歩みを続けてまいります。皆様のご指導とご協力を、ここに改めてお願い申し上げます。（編集委員 木村文輝）

禪研究所紀要（第四十四号）

平成二八年三月一六日 印刷
平成二八年三月三一日 発行（非売品）

発行責任者 佐藤悦成

発行所 愛知学院大学禪研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二
電話〇五六―七三一―二一（代）
郵便番号 四七〇―一九五

印刷所 株式会社 あるむ

名古屋市中区千代田三―一―二
電話〇五―三三三―〇八六一
郵便番号 四六〇―〇〇二二